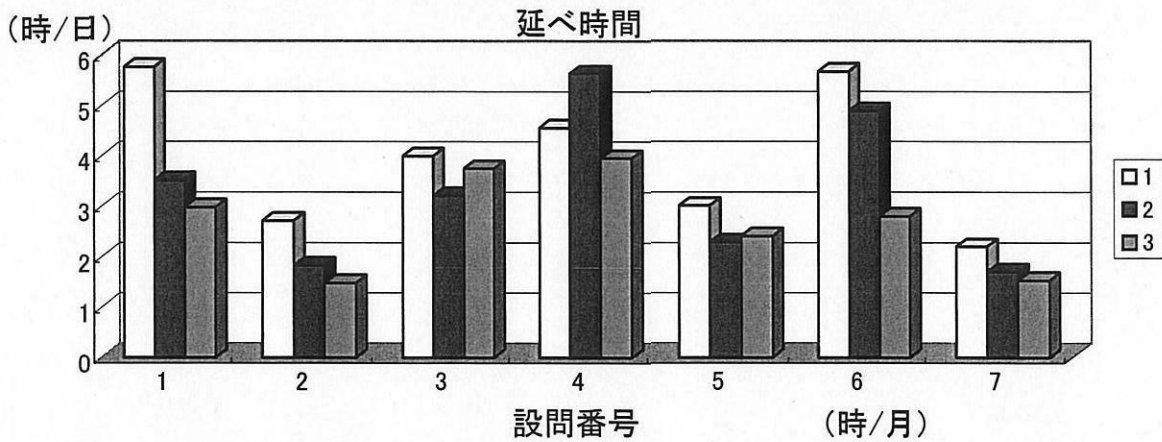
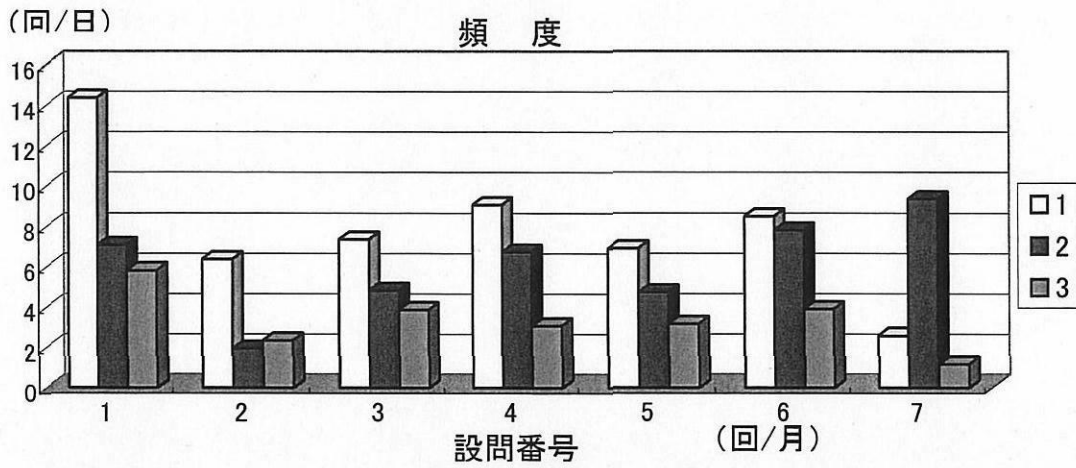
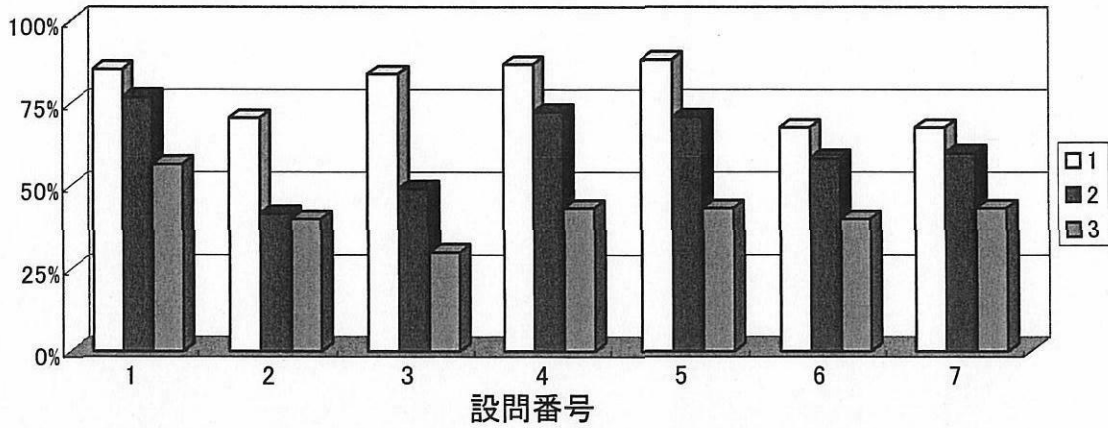


図8 抗がん剤
実施率



- 設問 1 院内で使用しているプロトコルを調査・分析し、プロトコルに基づき処方せんを鑑査し(投与量、薬物相互作用、投与方法、投与間隔、投与速度、配合変化など)適切な情報を医師に提供している
- 設問 2 処方設定に必要な情報(抗がん剤の感受性試験、可能性のある副作用の予測、予防、副作用の対処、投与適格患者の確認など)を医師に提供している
- 設問 3 副作用の初期症状、臨床検査値等をモニターし、適切な情報を医師に提供している
- 設問 4 患者・家族のニーズに合致した服薬指導をしている
- 設問 5 患者への服薬指導等の状況について、医師、看護師等に情報提供している
- 設問 6 抗がん剤を混合調製し、投与方法、投与速度、投与間隔、投与経路等の情報を医師、看護師に提供している。
- 設問 7 抗がん剤の暴露時の対処等の安全対策情報を医師、看護師に提供している。
- 薬剤師1人中の入院患者数を「n」としたとき、 $n \leq 30$ を「1」、 $30 < n \leq 50$ を「2」、 $n > 50$ を「3」